



### 空港内をくまなくカバーする 同報通信システムを低コストで構築し、 即時即応のサービスを実現。

#### 導入の背景 Background

- **不感地帯があった。**  
従来のトランシーバーは、空港内のへき地など基地局がカバーできるエリアに限界があり、連絡を取りにくいエリアがあった。
- **コストが高かった。**  
ランニングコストが高だけでなく、空港独自で維持管理している基地局のメンテナンスにかかる費用も大きな負担となっていた。
- **端末が重く、かさばる。**  
端末が重く、かさばり、身に着けて働くのに不具合があった。

#### 効果 Result

- **不感地帯解消**  
すべてのエリアでクリアな音声で通話でき、スムーズな情報交換が可能になった。また、空港の外からでも情報共有できるようになり、業務効率が向上した。
- **コストが下がった。**  
無線機の運用にかかるコストだけでなく、従来使用していた内線設備の置き換えとしても活用することができ、通信関連にかかる費用を大幅に削減した。
- **無線機が負担にならなくなった。**  
わずか240gと従来より軽く小型になり、持ち運びの負担が大きく減ることで、機動性が向上し、身に着ける負担も減った。

#### 選定 Selection

- **ほかのIP電話だと…**  
IP501Hと違って通話の遅延が大きく、通話に違和感を感じた。また、操作が分かりにくく、とっさの連絡の時などに不自由がでそうであった。
- **スマートフォン無線アプリだと…**  
電話で話したい1対1で話す情報と、無線機で共有したい情報をどちらもカバーする必要があるが、無線アプリで聴きたい同報情報を電話で通話しているときに聞き逃してしまうことがあった。
- **IP501Hは…**  
遅延が少なく、操作もわかりやすい。また、使用するキャリアもNTTドコモとauが使えるため、万が一の際の通信途絶の可能性も少ない。

# 各現場スタッフの皆様からも、ご好評をいただいています。

## 総務部

空港業務における通信手段はライフラインと同じ。  
高い信頼性を求めました。



株式会社JALスカイ 成田事業所 総務部  
大真屋 秀樹 氏

我々にとってトランシーバーはライフラインと同じなのです。いま、このタイミングでこの情報が共有されなかったら、安全が担保されないというような通話もあります。現状の通信にある程度満足できるなかで、新しい通信手段を導入するのはリスクにもつながるといふ声もあり、通話品質や信頼性に相当高いレベルを設けて選定にあたりました。そのなかで、アイコム(IP501H)は、マルチキャリアで運用できることや通話遅延の少なさ、操作性のわかりやすさなどで十分その基準をクリアしていると社内に説明することができ、採用に至りました。

## グランドスタッフ

割り込み通話ができるので重要な情報を  
タイムリーに共有することが可能。



株式会社JALグランドサービス 成田支店  
ランブサービス3部手荷物サービス1課  
田ノ上 豊和 氏

刻々と変わる状況をとらえながら荷さばき業務をすることになるので、「このタイミングですぐ伝えなければいけない」という情報が出てくることもあります。これまでの無線機だと、誰かと誰かが話していると、今伝えなければいけない情報があっても、その会話が終わるのを待ってからしか伝えることができず、効率的な伝達ができないこともありました。無線機をIP501Hに変えてからは、会話の途中でも送信ボタンをおせば割り込んで同時に通話ができるので、ほんとうに必要な情報を、ほかに優先してタイムリーに届けられるようになりました。

## ゲート業務スタッフ

不感地帯がなくなり、スムーズな連絡を実現。  
通話エリアの広がりがさらに強固な連携を実現。



株式会社JALスカイ 成田事業所  
空港オペレーション業務部  
パッセンジャーサービス業務グループ  
関 克哉 氏

出発時間になっても搭乗口に越えてないお客様の所在を探して連絡したり、出発便の遅延を共有したりと、無線機は定時運航のためになくてはならないツールです。これまでの無線機だと、電波が届かないエリアで通話が途切れることがありましたが、IP501Hにしてからは、電波の不感地帯がなくなり、よりスムーズに情報共有ができるようになりました。また、空港外でも携帯電話の通話範囲であれば通話できるので、急病のお客様に付き添って空港外の病院に向かうような場合でも、IP501Hを持っていればどこからでも多数のスタッフと状況を共有でき、たいへん便利になりました。

## 整備スタッフ

使い勝手が変わらず、  
すぐに操作になじむことができた。



株式会社JALエンジニアリング  
成田航空機整備センター企画・計画グループ  
中西 雄司郎 氏

新しい無線機を導入するということで、これまで使っていた無線機と使い勝手が異なり、慣れるまで時間がかかってしまうかもしれないと不安でした。現場の統制を取るうえで、コミュニケーションがスムーズにいかないとすると、最悪の場合運航に支障が出る可能性もあるので、シンプルな操作で、しかもすぐに使いこなせることが必要でした。すこし心配だったのですが、IP501Hはいい意味でこれまでの無線機と同じでした。すぐに操作になじむことができたので、広い通話エリアや通話の割り込みなど、いいところだけを享受できています。



【ご採用企業様】日本航空株式会社様

【場 所】千葉県・成田市

【URL】www.jal.co.jp/

設 立：1951年8月1日  
従 業 員 数：12,127人(2018年3月現在)  
連結従業員数：33,038人(2018年3月現在)  
本 社 所 在 地：東京都品川区東品川二丁目4番11号 野村不動産天王洲ビル

事 業 内 容：  
定期航空運送事業及び不定期航空運送事業  
航空機使用事業  
その他附帯する又は関連する一切の事業

アイコム株式会社 国内営業部 〒135-0042 東京都江東区木場2丁目17-16 5F TEL 03-6240-3549

高品質がテーマです。

製品の技術的なお問い合わせ

アイコムサポートセンター  
(平日9:00~17:00)

フリーダイヤル ☎: 0120-156-313  
携帯電話・PHS・公衆電話からは: 06-6792-4949



株式会社エクセリ  
(代理店届出番号C1909977)  
東京都墨田区菊川13-17-2 アドン菊川ビル4F /  
大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5  
お問い合わせ総合ダイヤル 03-3662-0551  
URL: https://www.exseli.com/  
証券コード: 158A

その他のお問い合わせは最寄りの営業所までご連絡ください。  
最寄りの営業所はホームページでご確認ください。 [www.icom.co.jp](http://www.icom.co.jp)



**注意**  
正しく安全にお使いいただくため、  
ご使用前に必ず「取扱説明書」を  
よくお読みください。

● 定格・仕様・外觀等は改良のために予告なく変更することがあります。● 製品の色は印刷の関係上、実際のものとは多少違うことがあります。● アイコム株式会社、アイコム、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。● その他、記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。● 所属・役職などは取材当時のものです。● イヤホン使用時は、音量には十分ご注意ください。